

新聞読んだ考えた

八戸学院光星高3年

はまた あみ
濱田 亜美さん



2022年3月2日付16面「原発と脱炭素 根強い不信 再稼働少数」 世界が「脱炭素社会」の実現を模索する中、欧州や米国では発電時に二酸化炭素を出さない原発の積極的な活用を目指す動きが出ている。2011年3月に東京電力福島第1原発事故を経験した日本では原発への不信が根強く、再稼働は少数にとどまる。

「想定外」なくす対策を

私は正直なところ、便利に安定的な電気を使って生活するには、原子力発電が良いのか、太陽光発電や風力発電といった再生可能エネルギーが良いのか、火力発電が良いのか分かりません。それぞれ長所もあれば短所もあると思います。

す。原子力は11年前の震災の時のように建物が壊れ放射性物質が漏れたら、人が生活できなくなる恐れがあります。青森県に住んでいる私たちにとって、原子力施設は身近なところにあるので特に重要な問題だと思います。

でもマイナス点ばかり考えていたら、私たちの生活は不便になってしまいます。私たちが便利に、そして快適に暮らしていけるよう、政治家や原発の関係者には事故が起きないように安全対策を第一に考えてほしいと思います。万が一の時、「想定外」などといった責任逃れの発言をしないでほしいです。